

4 モデル 8 自治会の現状

4-1 モデル 8 自治会の現状

モデル 8 自治会が置かれている現状を把握するため、代表者アンケートと自治会加入者アンケート及びヒアリング調査の結果から、各自治会の行政庁舎との距離区分ごとに次の項目を比較した。表は各アンケート調査票との対応関係を示している。なお、「困っている方向け支援・サービス」については各市町で受けられる支援・サービスが異なっているため、4 市町ごとに記載した。

表 4-1 自治会の現状を示す項目とアンケート調査票との対応

大項目		中項目	調査票との対応関係
自治会の組織属性		自治会の総戸数	代表者アンケート 問1
		自治会加入率	
		高齢化度（率）高齢化率	
最寄りの市町村舎		庁舎名	代表者アンケート 問19 及び ヒアリング調査
		自治会からの実距離（km）	
		市町村舎までの公共交通機関の1日の便数	
		自治会からの時間的距離（公共交通機関）	
自治会内の暮らしの不便		①かかりつけ医不便度	代表者アンケート 問4 及び 自治会加入者アンケート 問10
		②公共交通機関不便度	
		③食料・日用品不便度	
		④ガソリンスタンド不便度	
		⑤金融機関不便度	
		⑥郵便局不便度	
		⑦保育施設不便度	
		⑧小中学校不便度	
		⑨高等学校不便度	
		⑩受診機会不便度	
		⑪買物機会不便度	
		⑫早期受診不便度	
		⑬高齢・福祉サービス不便度	
		⑭身近食料品購入不便度	
		⑮身近日用品購入不便度	
困っている方の人数等		外出困難者数	代表者アンケート 問7
		生活に困っている方の人数	代表者アンケート 問8
		生活に困っている方の受援の状況	代表者アンケート 問9
		生活に困っている方が受援できない理由	代表者アンケート 問10
困っている方向け支援・サービス	認知度	①移動販売サービス認知度	代表者アンケート 問5 及び 自治会加入者アンケート 問16
		②配達サービス認知度	
		③買物代行サービス認知度	
		④ネットスーパーサービス認知度	
		⑤交通費助成サービス認知度	
		⑥訪問型生活支援サービス認知度	
	需要度	①移動販売サービス需要度	
		②配達サービス需要度	
		③買物代行サービス需要度	
		④ネットスーパーサービス需要度	
		⑤交通費助成サービス需要度	
		⑥訪問型生活支援サービス需要度	
自治会内に、困っている方を支援するNPOや組織の有無			代表者アンケート 問11, 12
自治会区域外に、困っている方を支援するNPOや組織の有無			

なお次ページ以降、行政庁舎との距離区分の平均値との高低は適宜、表に加工を施した。

なお、自治会加入者へのヒアリング調査を実施できなかった霧島市の高千穂5区自治会については、代表者アンケートの結果をもとに類似自治会を選定した上で、回答者の自由記述や選択回答の状況から高千穂5区自治会の姿を類推した。

類似自治会の選定方法や代表者アンケートの記述結果等は次のとおり。

(1) 類似自治会の選定

類似自治会を以下の手順で選定した。

- ① 高千穂5区自治会と同様に「縁辺部」にある
- ② 高千穂5区自治会と同程度の「高齢化率（度）」である
- ③ 高千穂5区自治会と同程度の「総戸数」である
- ④ 高千穂5区自治会と同程度の「自治会の加入率」である
- ⑤ 高千穂5区自治会と同程度の「暮らしの総不便度（平均）」である

以上を総合的に考慮したところ、いずれも霧島市内の片平，東郷団地，牧園八区，万膳3区，広瀬1，大廻，嘉例川の7自治会をそれぞれ選定した。

また、高千穂5区自治会と自治会の規模等は異なるが、同じ小学校区内にあり、地理的な条件が近いと類推できる、高千穂リゾート、高千穂4区の両自治会もこれに加えることにした。

(2) 選定した類似自治会の自由記述

高千穂5区自治会と類似していると推測して選定した9自治会の代表者アンケートの回答は次のとおり。

(ア) 困っている方向けに必要な支援やサービス（代表者アンケート 問6，自由記述）

- ・ 近くの方がフォローできる組織化（自治会での「お助け隊」）
- ・ 定期的に移動販売車等が来て頂ければいいと思います。
- ・ 買物支援
- ・ 乗合タクシーの多くの場所指定がほしい。
- ・ 小売店がない為移動販売車が来ると便利だと思う。
- ・ コンビニがあると助かる。
- ・ ふれあいバスの利用者少ないかわりデマンド交通利用が提案されていますが、どちらもバス会社タクシー会社の機関が入り、交通弱者の解決には多くの問題が、ふれあいバスと同様の利用になると思う。人口減少地域のまとまりの中で知人と一緒に利用できる（デマンドの特徴）対策がなければ、交通弱者対策には解決できないと思う（人の運搬に関する法との整備）。

<参考>

高千穂5区自治会の代表者の回答は次のとおり。

- ・ 日用品衣料品店等あったら便利だと思います。

(イ) 困っている方向け支援・サービスの利用可否（代表者アンケート 問9，SA）

- | | |
|-------------|------|
| 1. 受けられている | 4自治会 |
| 2. 受けられていない | なし |
| 3. 分からない | 1自治会 |
| 4. 無回答 | 4自治会 |

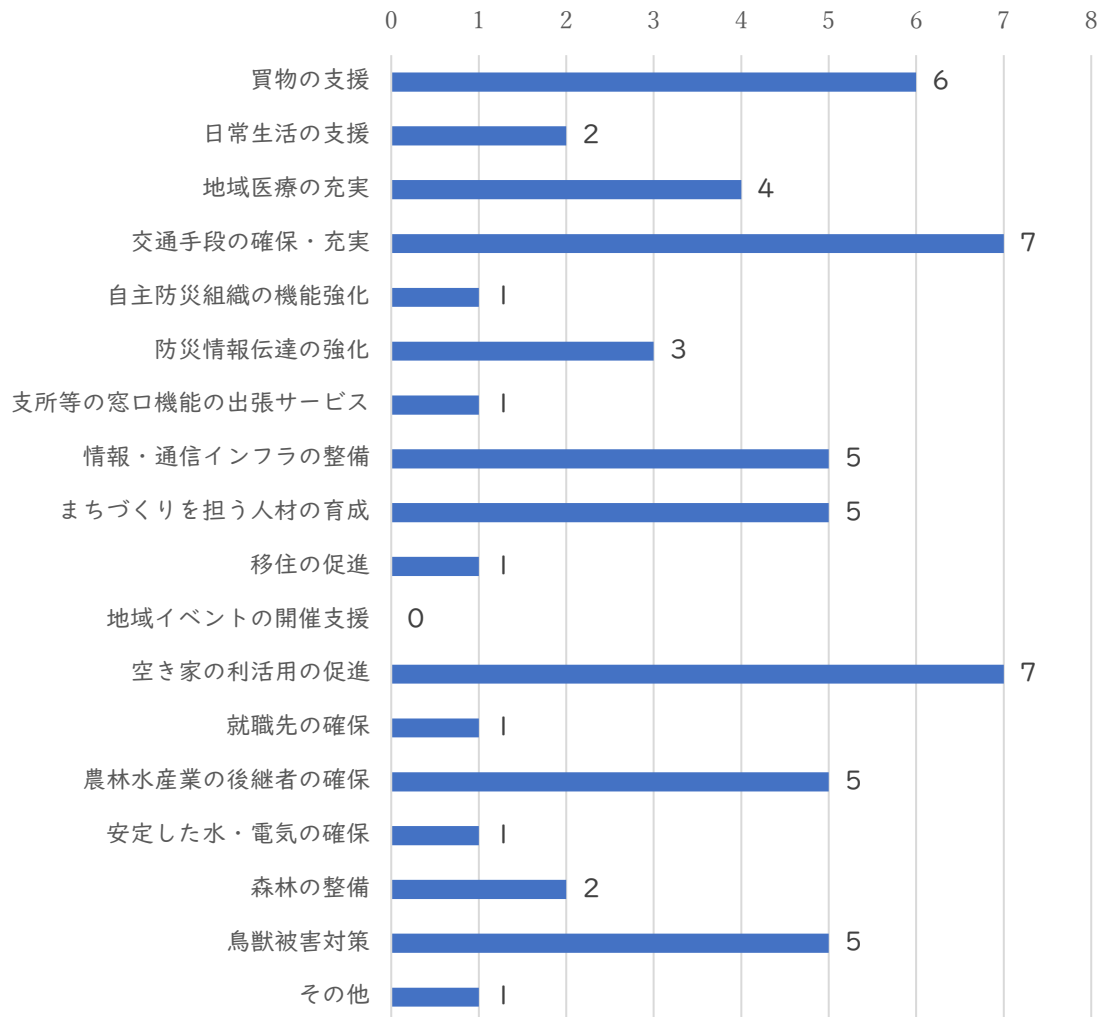
<参考>

高千穂5区自治会の代表者の回答は次のとおり。

- ・ 受けられている。

(ウ) 自治会住民が望むこと（代表者アンケート 問13, MA）

表 4-1-(2)-(ウ) 住まいの地域への望ましい施策



<参考>

高千穂5区自治会の代表者の回答は次のとおり。

- ・ 買物の支援
- ・ 日常生活の支援
- ・ 地域医療の充実
- ・ 交通手段の確保・充実
- ・ 支所等の窓口機能の出張サービス
- ・ 空き家の利活用の促進

(エ) 困っている方向けの支援について日頃から考えていること（代表者アンケート 問14, 自由記述）

- ・ お互いに声かけができ、また、助け合う雰囲気づくり。その為の場づくりが自治会には求められていると思います。
- ・ 民生委員として3箇所の自治会を担当しておりますが、皆さん買物に不便されておりますので移動販売車等に来て頂く様、大手コンビニ等にお願いしておりますが、未だ実現しておりません。
- ・ バスの1日の便数が少ない為増やしてほしい。
- ・ 自家用車がないと好きな時に用事ができないので困る。
- ・ いつも声かけを行っていきます。住まいの手入れ等できることはできる範囲で手伝いを行うことにしています。いつも交流を行い、お互いの元気をもらっています。

<参考>

高千穂5区自治会代表者の回答は次のとおり。

- ・ 移動販売サービス等があったら利用があるかと思います。

(3) 高千穂5区の自治会加入者アンケートの自由記述

高千穂5区自治会加入者アンケートの自由記述の回答は次のとおり。

(ア) 普段の生活や買物・外出に困らないための支援やサービス（自治会加入者アンケート 問18, 自由記述）

- ・ 問16（移動販売サービス、配達サービス、買物代行サービス、ネットスーパーサービス、コミュニティバスサービス、乗合タクシーサービス、訪問型生活支援サービス）⁷のようないろいろなサービスの提供
- ・ 買い物に連れて行くバスとかタクシーとか有ったら助かる。なるべく品数が多くて安い店が沢山ある町の店に連れて行ってもらえたらいいと思う。
- ・ ドラッグストアがあったら良いと思います。
- ・ 加齢により自家用車の利用が制限されており（車キーの所持不能など）、郵便物の投函、病気が疑われるときの受診、通院方法などちょっとした外出方法の支援が必要と思われる。
- ・ 資源ごみ、不燃物の運搬処理に困ることあり。

⁷ () 内は補足のため、調査受託者において加筆

(イ) 困っている方向けの支援について日頃から考えていること（自治会加入者アンケート問 26，自由記述）

- ・ 移動販売車の巡回
- ・ 福祉的なコミュニティバスの運行
- ・ 車のない方，運転できない方のために問 16（移動販売サービス，配達サービス，買物代行サービス，ネットスーパーサービス，コミュニティバスサービス，乗合タクシーサービス，訪問型生活支援サービス）⁸のような様々なサービスが欲しい。
- ・ コスモスがー店でもあったら良いと思う。
- ・ 郵便物の投函
- ・ 資源ごみ，不燃物の指定処理上までの運搬
- ・ 土曜日休診病院の救済（高齢者の疾病に休日はない，いつ何時体調不良になるかわからない）

(ウ) 相談相手の具体例（自治会加入者アンケート問 19，自由記述）

- ・ 近くの友達
- ・ 近所の友人
- ・ 友人・親戚
- ・ 近くに姉妹がいる
- ・ 親戚
- ・ 兄弟，知人
- ・ 友人，知人
- ・ ケアマネージャー

⁸ （）内は補足のため，調査受託者において加筆

4-1-1 霧島市の高千穂5区自治会の現状

高千穂5区自治会と、同市内の全自治会及び縁辺部の自治会との比較は次のとおり。

表 4-1-1 霧島市の高千穂5区自治会と縁辺部自治会との比較

		高千穂5区	霧島市の縁辺部全自治会の平均	霧島市全体の平均	
自治会の組織属性	自治会の総戸数	122	49.3	62.1	
	自治会加入率	95.9%	87.5%	86.7%	
	高齢化度（率）	6	4.31	3.95	
最寄りの市町村庁舎	庁舎名	牧園支所			
	自治会からの実距離（km）	9.4			
	市町村庁舎までの公共交通機関の1日の便数	5			
	自治会からの時間的距離（公共交通機関）	30分			
自治会内の暮らしの不便	①かかりつけ医不便度	3.00	2.87	2.56	
	②公共交通機関不便度	3.38	3.35	3.03	
	③食料・日用品不便度	2.43	3.16	2.73	
	④ガソリンスタンド不便度	2.50	2.72	2.41	
	⑤金融機関不便度	3.23	2.86	2.54	
	⑥郵便局不便度	2.00	2.50	2.32	
	⑦保育施設不便度	2.00	2.81	2.49	
	⑧小中学校不便度	2.33	2.71	2.33	
	⑨高等学校不便度	2.83	3.25	2.94	
	⑩受診機会不便度	2.23	2.48	2.27	
	⑪買物機会不便度	1.92	2.27	2.02	
	⑫早期受診不便度	2.79	2.61	2.40	
	⑬高齢・福祉サービス不便度	2.42	2.72	2.55	
	⑭身近食料品購入不便度	2.43	2.69	2.35	
	⑮身近日用品購入不便度	2.71	2.66	2.34	
困っている方の人数等	外出困難者数	5人			
	生活に困っている方の人数	3人			
	生活に困っている方の受援の状況	支援を受けられている			
	生活に困っている方が受援できない理由	-			
困っている方向け支援・サービス	認知度	①移動販売サービス認知度	1.33	1.53	1.54
		②配達サービス認知度	1.38	1.52	1.41
		③買物代行サービス認知度	1.31	1.38	1.49
		④ネットスーパーサービス認知度	1.33	1.48	1.66
		⑤コミュニティバスサービス認知度	1.54	1.69	1.48
		⑥乗合タクシーサービス認知度	1.50	1.44	1.70
		⑦訪問型生活支援サービス認知度	1.62	1.71	1.48
	需要度	①移動販売サービス需要度	1.91	2.48	2.49
		②配達サービス需要度	2.00	2.52	2.58
		③買物代行サービス需要度	1.82	2.35	2.42
		④ネットスーパーサービス需要度	1.73	2.10	2.20
		⑤コミュニティバスサービス需要度	1.83	2.39	2.43
		⑥乗合タクシーサービス需要度	1.91	2.31	2.36
⑦訪問型生活支援サービス需要度	1.92	2.56	2.58		
自治会内に、困っている方を支援するNPOや組織の有無		知らない			
自治会区域外に、困っている方を支援するNPOや組織の有無		知らない			

前ページの表と、本報告書 89 ページから 93 ページで示した類似自治会の代表者及び自治会加入者アンケートの結果から推定する高千穂 5 区自治会の現状は次のとおり。

(1) 地域特性（地理的特性，公共交通機関の状況，高齢化率など）

高千穂 5 区自治会は，霧島市中山間地域に位置し，同市内の中山間地域のほかの自治会と比較して，高齢率が高い水準にある。

類似自治会のアンケート結果を踏まえると，買物や医療機関へのアクセスが課題となっていると推測される。

(2) 自治会内の暮らしの不便

<買物の不便>

高千穂 5 区自治会は，霧島市中山間地域に位置し，日用品の買物が不便であることが予想される。

運転免許を返納した高齢者などにとっては日常的な買物のための移動手段が課題となっている状況が想定される。

他方，ほかの自治会と比較して，移動販売や配達，買物代行，ネットスーパーといった各種買物支援・サービスの認知度は低い。

<移動手段の不便>

市街地に向かうバスの本数が少なく，住民のバス移動は限定的と推測される。

ほかの自治会と比較して，かかりつけ医や公共交通機関，金融機関の不便度が高い傾向にある。

ほかの自治会と比較して，コミュニティバスの認知度が低い。

<医療機関へのアクセス>

ほかの自治会と比較して，かかりつけ医，早期受診の各不便度が高い。

日常的な通院や専門的な診療を受けるため遠方の病院まで行く必要があることが予測される。

(3) 生活に困っている方向けの支援やサービスの状況

現在提供されている支援については，自治会加入者への対面ヒアリングができておらず，不明

4-1-2 霧島市の菩提寺団地自治会の現状

菩提寺団地自治会と、霧島市の中心部の全自治会との比較は次のとおり。

表 4-1-2 霧島市の菩提寺団地自治会と中心部自治会との比較

		菩提寺団地	霧島市の中心部全自治会の平均	霧島市全体の平均	
自治会の組織属性	自治会の総戸数	48	42.0	62.1	
	自治会加入率	100.0%	88.9%	86.7%	
	高齢化度（率）	5	3.74	3.95	
最寄りの市町庁舎	庁舎名	隼人市民サービ			
	自治会からの実距離（km）	0.8			
	市町庁舎までの公共交通機関の1日の便数	記載なし			
	自治会からの時間的距離（公共交通機関）	30分			
自治会内の暮らしの不便	①かかりつけ医不便度	2.25	2.15	2.56	
	②公共交通機関不便度	2.00	2.52	3.03	
	③食料・日用品不便度	1.58	2.55	2.73	
	④ガソリンスタンド不便度	1.50	2.28	2.41	
	⑤金融機関不便度	1.50	2.29	2.54	
	⑥郵便局不便度	1.33	2.12	2.32	
	⑦保育施設不便度	1.75	2.16	2.49	
	⑧小中学校不便度	1.75	2.06	2.33	
	⑨高等学校不便度	2.00	2.92	2.94	
	⑩受診機会不便度	2.00	2.06	2.27	
	⑪買物機会不便度	1.45	1.96	2.02	
	⑫早期受診不便度	1.73	2.16	2.40	
	⑬高齢・福祉サービス不便度	2.00	2.35	2.55	
	⑭身近食料品購入不便度	1.36	2.31	2.35	
	⑮身近日用品購入不便度	1.64	2.27	2.34	
困っている方の人数等	外出困難者数	2人			
	生活に困っている方の人数	3人			
	生活に困っている方の受援の状況	支援を受けられているかどうか、分からない			
	生活に困っている方が受援できない理由	-			
困っている方向け支援・サービス	認知度	①移動販売サービス認知度	1.38	1.46	1.54
		②配達サービス認知度	1.58	1.44	1.41
		③買物代行サービス認知度	1.42	1.34	1.49
		④ネットスーパーサービス認知度	1.67	1.47	1.66
		⑤コミュニティバスサービス認知度	1.58	1.60	1.48
		⑥乗合タクシーサービス認知度	1.58	1.50	1.70
		⑦訪問型生活支援サービス認知度	1.67	1.75	1.48
	需要度	①移動販売サービス需要度	1.69	2.43	2.49
		②配達サービス需要度	1.92	2.56	2.58
		③買物代行サービス需要度	1.83	2.33	2.42
		④ネットスーパーサービス需要度	1.92	2.09	2.20
		⑤コミュニティバスサービス需要度	1.92	2.40	2.43
		⑥乗合タクシーサービス需要度	1.92	2.31	2.36
		⑦訪問型生活支援サービス需要度	1.83	2.53	2.58
自治会内に、困っている方を支援するNPOや組織の有無		まち作り委員会			
自治会区域外に、困っている方を支援するNPOや組織の有無		知らない			

前ページの表及び菩提寺団地自治会へのヒアリング調査の結果から推定する同自治会の現状は次のとおり。

(1) 地域特性

菩提寺団地は霧島市の市街地中心部に位置する。高齢化率は霧島市の市街地中心部にあ
るほかの自治会と比較しても高い。

(2) 自治会内の暮らしの不便

<買物の不便>

徒歩で行ける店舗があるが、遠出する住民もいる。

移動販売を希望する声がある。

<移動手段の不便>

バスは不便で利用方法が分かりにくいため、循環バスを含めた公共交通機関の利便性向
上を求める声がある。

タクシーは予約が取りにくく料金も高いため、支援を求める声がある。

ほかの自治会と比較すると、コミュニティバスサービスの認知度が低い。

<情報取得の困難>

行政の広報紙は配布されているが、高齢者には文字が小さく、情報が伝わりにくい。

インターネットの利用率は低く、スマートフォンを持っても、LINE や通話以外の
活用が進んでいない。

自治会や行政の支援情報が届きにくく、相談できる場が少ないという課題がある。

(3) 生活に困っている方向けの支援やサービスの状況

ほかの自治会と比較すると、移動販売や訪問型生活支援サービスの認知度が低い。

<現在提供されている支援>

- ・ 移動販売
- ・ タクシー助成制度
- ・ 行政広報紙での情報提供

4-1-3 伊佐市の朝日町自治会の現状

朝日町自治会と、伊佐市の中心部の自治会との比較は次のとおり。

表 4-1-3 伊佐市の朝日町自治会と中心部自治会との比較

		朝日町	伊佐市の中心部全自治会の平均	伊佐市全体の平均	
自治会の組織属性	自治会の総戸数	196	55.1	39.5	
	自治会加入率	100.0%	89.5%	90.4%	
	高齢化度（率）	2	3.47	4.43	
最寄りの市町村庁舎	庁舎名	大口庁舎			
	自治会からの実距離（km）	0.7			
	市町村庁舎までの公共交通機関の1日の便数	記載なし			
	自治会からの時間的距離（公共交通機関）	記載なし			
自治会内の暮らしの不便	①かかりつけ医不便度	1.46	1.83	2.76	
	②公共交通機関不便度	2.45	2.26	3.19	
	③食料・日用品不便度	2.71	2.26	3.11	
	④ガソリンスタンド不便度	2.36	2.16	2.92	
	⑤金融機関不便度	1.85	1.67	2.78	
	⑥郵便局不便度	1.57	1.47	2.17	
	⑦保育施設不便度	1.50	1.53	2.44	
	⑧小中学校不便度	1.25	1.42	2.34	
	⑨高等学校不便度	1.25	2.11	2.97	
	⑩受診機会不便度	1.82	1.79	2.37	
	⑪買物機会不便度	1.60	1.47	2.04	
	⑫早期受診不便度	1.83	1.68	2.49	
	⑬高齢・福祉サービス不便度	2.18	1.89	2.56	
	⑭身近食料品購入不便度	2.33	1.58	2.57	
	⑮身近日用品購入不便度	2.00	1.68	2.57	
困っている方の人数等	外出困難者数	5人			
	生活に困っている方の人数	なし			
	生活に困っている方の受援の状況	支援を受けられている			
	生活に困っている方が受援できない理由	-			
困っている方向け支援・サービス	認知度	①移動販売サービス認知度	1.55	1.53	1.60
		②配達サービス認知度	1.50	1.53	1.49
		③買物代行サービス認知度	1.40	1.41	1.41
		④ネットスーパーサービス認知度	1.30	1.47	1.31
		⑤コミュニティバスサービス認知度	1.40	1.47	1.42
		⑥乗合タクシーサービス認知度	1.56	1.41	1.57
		⑦訪問型生活支援サービス認知度	1.60	1.71	1.70
	需要度	①移動販売サービス需要度	2.00	2.06	2.46
		②配達サービス需要度	1.83	2.44	2.52
		③買物代行サービス需要度	1.83	2.22	2.34
		④ネットスーパーサービス需要度	1.91	1.94	2.06
		⑤コミュニティバスサービス需要度	1.91	2.06	2.20
		⑥乗合タクシーサービス需要度	2.18	2.24	2.29
		⑦訪問型生活支援サービス需要度	2.00	2.35	2.48
自治会内に、困っている方を支援するNPOや組織の有無		知らない			
自治会区域外に、困っている方を支援するNPOや組織の有無		ティ協議会単位でお助け隊がある			

前ページの表及び朝日町自治会へのヒアリング調査の結果から推定する同自治会の現状は次のとおり。

(1) 地域特性

朝日町自治会は、伊佐市の中心部に近いエリアに位置している。

若い人も居住しており、ほかの市街地中心部に位置する自治会と比べて高齢化率は高くはない。

(2) 自治会内の暮らしの不便

<買物の不便>

市街地中心部に位置しているものの、食料・日用品不便度や買物機会不便度が高い傾向にある。

コンビニエンスストアもあるが、生鮮食品や日用品を買う際には遠方に出かける必要があり、高齢者や運転免許返納者にとっては、移動手段の確保が課題となっている。

<移動手段の不便>

ほかの自治会と比べて、コミュニティバスの認知度が低い。

タクシーの助成制度はあるが、助成額に上限があり、増額を求める声がある。

<情報取得の困難>

インターネットを活用した情報収集が苦手な住民も多い。

ほかの自治会と比較しても、行政や民間が提供する各種支援・サービスの認知度が低い傾向にある。

(3) 生活に困っている方向けの支援やサービスの状況

訪問型生活支援サービスの認知度がほかの自治会と比べて低い一方で、需要度は高くはない。

<現在提供されている支援>

- ・ タクシー助成制度
- ・ 行政広報紙での情報提供

4-1-4 伊佐市の宮人自治会の現状

宮人自治会と、伊佐市の縁辺部の自治会との比較は次のとおり。

表 4-1-4 伊佐市の宮人自治会と縁辺部自治会との比較

		宮人	伊佐市の縁辺部全自治会の平均	伊佐市全体の平均	
自治会の組織属性	自治会の総戸数	54	34.8	39.5	
	自治会加入率	100.0%	91.1%	90.4%	
	高齢化度（率）	6	4.78	4.43	
最寄りの市町村庁舎	庁舎名	大口庁舎			
	自治会からの実距離（km）	7.0			
	市町村庁舎までの公共交通機関の1日の便数	2			
	自治会からの時間的距離（公共交通機関）	30分			
自治会内の暮らしの不便	①かかりつけ医不便度	2.79	3.21	2.76	
	②公共交通機関不便度	3.26	3.54	3.19	
	③食料・日用品不便度	3.05	3.50	3.11	
	④ガソリンスタンド不便度	2.94	3.26	2.92	
	⑤金融機関不便度	3.05	3.16	2.78	
	⑥郵便局不便度	3.00	2.35	2.17	
	⑦保育施設不便度	2.91	2.75	2.44	
	⑧小中学校不便度	2.73	2.72	2.34	
	⑨高等学校不便度	2.91	3.45	2.97	
	⑩受診機会不便度	2.80	2.56	2.37	
	⑪買物機会不便度	2.44	2.30	2.04	
	⑫早期受診不便度	2.53	2.84	2.49	
	⑬高齢・福祉サービス不便度	2.56	2.85	2.56	
	⑭身近食料品購入不便度	2.59	2.98	2.57	
	⑮身近日用品購入不便度	2.50	2.98	2.57	
困っている方の人数等	外出困難者数	6人			
	生活に困っている方の人数	なし			
	生活に困っている方の受援の状況	支援を受けられている			
	生活に困っている方が受援できない理由	-			
困っている方向け支援・サービス	認知度	①移動販売サービス認知度	1.94	1.66	1.60
		②配達サービス認知度	1.75	1.54	1.49
		③買物代行サービス認知度	1.60	1.46	1.41
		④ネットスーパーサービス認知度	1.29	1.34	1.31
		⑤コミュニティバスサービス認知度	1.56	1.46	1.42
		⑥乗合タクシーサービス認知度	1.50	1.62	1.57
		⑦訪問型生活支援サービス認知度	1.69	1.71	1.70
	需要度	①移動販売サービス需要度	2.18	2.53	2.46
		②配達サービス需要度	1.86	2.54	2.52
		③買物代行サービス需要度	1.93	2.33	2.34
		④ネットスーパーサービス需要度	1.53	2.04	2.06
		⑤コミュニティバスサービス需要度	1.86	2.24	2.20
		⑥乗合タクシーサービス需要度	2.07	2.36	2.29
		⑦訪問型生活支援サービス需要度	2.00	2.49	2.48
自治会内に、困っている方を支援するNPOや組織の有無		羽月西校区お助け隊（わんこ隊）			
自治会区域外に、困っている方を支援するNPOや組織の有無		知らない			

前ページの表及び宮人自治会へのヒアリング調査の結果から推定する同自治会の現状は次のとおり。

(1) 地域特性

宮人自治会は、伊佐市の中山間地域に位置し、住宅が点在する地域である。商業施設や医療機関への距離が遠く、移動手段の確保が生活の質に直結する。高齢化率は、伊佐市のほかの中山間地域の自治会と比較しても高い。

(2) 自治会内の暮らしの不便

<買物の不便>

宮人自治会では、近隣にスーパーや小売店が少なく、食料品や生活必需品の購入に不便を感じている住民も少なくない。

移動販売はあるが、ほかの自治会と比較して認知度は高いものの、需要は高くない。

生鮮食品は移動販売又は遠方まで出向かなくてはならず、高齢者にとっては移動の負担が大きい。

郵便局の利用に対する不便度も高い。

<移動手段の不便>

移動手段の選択肢は多くはなく、免許返納後の高齢者にとっては外出が困難な状況である。

コミュニティバスの本数が少なく、不便を感じている。

タクシーは利用可能だが、費用負担が大きく、助成制度の支給額も限られているため、頻繁に利用することは難しい。

<情報取得の困難>

インターネットの活用率が低く、行政の広報紙や新聞に頼っている高齢者が存在する可能性がある。

ネットスーパーや訪問型生活支援といった各サービスに対する認知度が低い傾向にあり、利用可能なサービスを知らないまま生活している住民がいると推測される。

(3) 生活に困っている方向けの支援やサービスの状況

<現在提供されている支援>

- ・ タクシー助成制度
- ・ 移動販売
- ・ 行政広報紙での情報提供

4-1-5 始良市の永瀬自治会の現状

永瀬自治会と、始良市の縁辺部の自治会との比較は次のとおり。

表 4-1-5 始良市の永瀬自治会と縁辺部自治会との比較

		永瀬	始良市の縁辺部全自治会の平均		始良市全体の平均
自治会の組織属性	自治会の総戸数	71	59.7	126.8	
	自治会加入率	85.9%	87.0%	80.2%	
	高齢化度（率）	3	4.86	4.09	
最寄りの市町村庁舎	庁舎名	始良本庁舎			
	自治会からの実距離（km）	5.0			
	市町村庁舎までの公共交通機関の1日の便数	10			
	自治会からの時間的距離（公共交通機関）	30分			
自治会内の暮らしの不便	①かかりつけ医不便度	3.00	2.94	2.39	
	②公共交通機関不便度	3.29	3.30	2.79	
	③食料・日用品不便度	3.29	3.38	2.54	
	④ガソリンスタンド不便度	2.90	3.18	2.49	
	⑤金融機関不便度	3.17	3.12	2.42	
	⑥郵便局不便度	2.79	2.51	2.18	
	⑦保育施設不便度	2.29	2.85	2.33	
	⑧小中学校不便度	1.71	2.63	2.30	
	⑨高等学校不便度	2.29	3.35	2.92	
	⑩受診機会不便度	2.17	2.40	2.03	
	⑪買物機会不便度	2.31	2.45	1.88	
	⑫早期受診不便度	2.58	2.59	2.07	
	⑬高齢・福祉サービス不便度	2.55	2.76	2.40	
	⑭身近食料品購入不便度	2.67	2.78	2.20	
	⑮身近日用品購入不便度	2.67	2.76	2.18	
困っている方の人数等	外出困難者数	6人			
	生活に困っている方の人数	5人			
	生活に困っている方の受援の状況	分からない			
	生活に困っている方が受援できない理由	-			
困っている方向け支援・サービス	認知度	①移動販売サービス認知度	1.31	1.46	1.45
		②配達サービス認知度	1.33	1.40	1.57
		③ネットスーパーサービス認知度	1.42	1.43	1.52
		④コミュニティバスサービス認知度	1.42	1.64	1.69
		⑤乗合タクシーサービス認知度	1.25	1.69	1.63
		⑥交通費助成サービス認知度	1.33	1.60	1.66
	需要度	①移動販売サービス需要度	1.69	2.53	2.46
		②配達サービス需要度	1.75	2.55	2.53
		③ネットスーパーサービス需要度	1.25	1.94	2.16
		④コミュニティバスサービス需要度	1.50	2.52	2.45
		⑤乗合タクシーサービス需要度	1.42	2.43	2.46
		⑥交通費助成サービス需要度	1.83	2.71	2.70
自治会内に、困っている方を支援するNPOや組織の有無		知らない			
自治会区域外に、困っている方を支援するNPOや組織の有無		知らない			

前ページの表及び永瀬自治会へのヒアリング調査の結果から推定する同自治会の現状は次のとおり。

(1) 地域特性

永瀬自治会は、始良市の中山間地域に位置し、徒歩圏内で買物や受診といった住民生活を完結するのは難しい地域である。高齢化率は、始良市内のほかの中山間地域の自治会と比べて低い水準となっている。

(2) 自治会内の暮らしの不便

<買物の不便>

永瀬自治会では、徒歩圏内に小売店やスーパーマーケットが少なく、生鮮食品や日用品を購入するためには、遠方の店舗まで出かける必要がある。

移動販売の実施の有無は不明。

他の自治会と比較すると、移動販売サービスや配達、ネットスーパーサービスの各認知度が低い。

<移動手段の不便>

市街地までのバスの本数は限定的で、コミュニティバスの認知度も高くはない。

高齢者や身体的に移動が難しい住民にとっては、実際にバスを日常的に利用することは困難な状況となっている可能性がある。

タクシー利用の助成制度はあるが、支給額が低く、増額を求める声がある。

<情報取得の困難>

行政や自治会の情報提供は行われているものの、支援制度やサービスの詳細を十分に把握している住民が少ない。

特に、高齢者を中心にインターネットの利用率が低く、スマートフォンを所有していても、情報収集の手段としては活用されていないと推測される。

(3) 生活に困っている方向けの支援やサービスの状況

<現在提供されている支援>

- ・ タクシー助成制度
- ・ 行政の情報提供

4-1-6 始良市の明神自治会の現状

明神自治会と、始良市の周辺部の自治会との比較は次のとおり。

表 4-1-6 始良市の明神自治会と周辺部自治会との比較

		明神	始良市の周辺 部全自治会の 平均		始良市全体 の平均	
自治会の組織属性	自治会の総戸数	91	176.0	126.8		
	自治会加入率	45.1%	77.1%	80.2%		
	高齢化度（率）	5	3.69	4.09		
最寄りの市町村庁舎	庁舎名	加治木総合支所				
	自治会からの実距離（km）	2.0				
	市町村庁舎までの公共交通機関の1日の便数	3				
	自治会からの時間的距離（公共交通機関）	20分				
自治会内の暮らし の不便	①かかりつけ医不便度	2.29	2.19	2.39		
	②公共交通機関不便度	2.71	2.66	2.79		
	③食料・日用品不便度	1.86	2.30	2.54		
	④ガソリンスタンド不便度	1.80	2.20	2.49		
	⑤金融機関不便度	2.00	2.26	2.42		
	⑥郵便局不便度	1.71	2.14	2.18		
	⑦保育施設不便度	2.00	2.18	2.33		
	⑧小中学校不便度	3.00	2.30	2.30		
	⑨高等学校不便度	2.67	2.87	2.92		
	⑩受診機会不便度	1.83	1.90	2.03		
	⑪買物機会不便度	1.33	1.70	1.88		
	⑫早期受診不便度	2.29	1.89	2.07		
	⑬高齢・福祉サービス不便度	2.29	2.30	2.40		
	⑭身近食料品購入不便度	2.29	2.03	2.20		
	⑮身近日用品購入不便度	2.29	2.01	2.18		
困っている方の人 数等	外出困難者数	5人				
	生活に困っている方の人数	10人				
	生活に困っている方の受援の状況	分からない				
	生活に困っている方が受援できない理由	-				
困っている方向け 支援・ サービス	認知度	①移動販売サービス認知度	1.14	1.43	1.45	
		②配達サービス認知度	1.29	1.57	1.57	
		③ネットスーパーサービス認知度	1.57	1.53	1.52	
		④コミュニティバスサービス認知度	1.43	1.64	1.69	
		⑤乗合タクシーサービス認知度	1.17	1.58	1.63	
		⑥交通費助成サービス認知度	1.14	1.66	1.66	
	需要度	①移動販売サービス需要度	2.00	2.53	2.46	
		②配達サービス需要度	2.00	2.52	2.53	
		③ネットスーパーサービス需要度	2.00	2.26	2.16	
		④コミュニティバスサービス需要度	2.00	2.35	2.45	
		⑤乗合タクシーサービス需要度	2.00	2.48	2.46	
		⑥交通費助成サービス需要度	1.71	2.65	2.70	
自治会内に、困っている方を支援するNPOや組織の有無		知らない				
自治会区域外に、困っている方を支援するNPOや組織の有無		知らない				

前ページの表及び明神自治会へのヒアリング調査の結果から推定する同自治会の現状は次のとおり。

(1) 地域特性

明神自治会は、始良市の市街地周辺部に位置し、公共交通機関はバスが運行しているものの、本数が非常に少なく、日常の移動には不便を感じる住民が多い。高齢化率は始良市内のほかの自治会と比較して、高い水準にある。

(2) 自治会内の暮らしの不便

<買物の不便>

明神自治会では、近隣にスーパーマーケットや商店がなく、生鮮食品や日用品を購入するためには遠方の商業施設まで移動しなければならず、免許を持たない高齢者にとっては負担がある。

移動販売が実施されているかは不明

ほかの市街地周辺部の自治会と比較すると、移動販売サービスや配達サービスといった買物支援の認知度が低い傾向にある。

<移動手段の不便>

バスの本数が少なく、利用できる時間帯が限られている。

タクシーの利用は可能だが、運賃負担が大きく、料金助成の拡充を求める声がある。

ほかの自治会との比較でも、乗合タクシーサービスの認知度が低くなっている。

免許返納を検討する高齢者がいる中で、今後移動手段の確保が生活維持に直結する可能性がある。

<情報取得の困難>

困っている方向け支援・サービスの認知度が総じて低く、高齢者を含めて住民の中には、行政の支援策を知らないまま生活している人が少なくないと推定される。

また、インターネットの利用率も低く、スマートフォンを持っても LINE や通話以外の活用が進んでいない。

(3) 生活に困っている方向けの支援やサービスの状況

<現在提供されている支援>

- ・ タクシー助成制度
- ・ 行政の情報提供

4-1-7 湧水町の二渡自治会の現状

二渡自治会と、湧水町の縁辺部の自治会との比較は次のとおり。

表 4-1-7 湧水町の二渡自治会と縁辺部自治会との比較

		二渡	湧水町の縁辺部全自治会の平均		湧水町全体の平均
自治会の組織属性	自治会の総戸数		69	19.9	27.8
	自治会加入率		94.2%	93.3%	92.9%
	高齢化度（率）高齢化率		4	4.93	4.70
最寄りの市町村庁舎	庁舎名		栗野庁舎		
	自治会からの実距離（km）		4.0		
	市町村庁舎までの公共交通機関の1日の便数		3～4		
	自治会からの時間的距離（公共交通機関）		15分		
自治会内の暮らしの不便	①かかりつけ医不便度		1.79	3.14	2.92
	②公共交通機関不便度		2.82	3.93	3.22
	③食料・日用品不便度		2.53	3.57	2.85
	④ガソリンスタンド不便度		2.38	3.21	2.57
	⑤金融機関不便度		2.36	3.36	2.73
	⑥郵便局不便度		2.14	2.71	2.24
	⑦保育施設不便度		2.30	2.67	2.34
	⑧小中学校不便度		2.40	2.58	2.11
	⑨高等学校不便度		3.22	3.50	3.70
	⑩受診機会不便度		2.71	2.79	2.51
	⑪買物機会不便度		1.85	2.08	1.91
	⑫早期受診不便度		2.23	2.86	2.71
	⑬高齢・福祉サービス不便度		2.14	2.93	2.55
	⑭身近食料品購入不便度		2.08	2.62	2.33
	⑮身近日用品購入不便度		2.08	2.62	2.40
困っている方の人数等	外出困難者数		6人		
	生活に困っている方の人数		5人		
	生活に困っている方の受援の状況		分からない		
	生活に困っている方が受援できない理由		-		
困っている方向け支援・サービス	認知度	①移動販売サービス認知度	1.85	1.58	1.52
		②配達サービス認知度	1.62	1.42	1.71
		③買物代行サービス認知度	1.54	1.33	1.56
		④ネットスーパーサービス認知度	1.38	1.33	1.41
		⑤交通費助成サービス認知度	1.54	1.50	1.49
		⑥訪問型生活支援サービス認知度	1.62	1.73	1.77
	需要度	①移動販売サービス需要度	2.00	2.60	2.68
		②配達サービス需要度	1.73	2.70	2.73
		③買物代行サービス需要度	1.64	2.80	2.65
		④ネットスーパーサービス需要度	1.55	2.20	2.42
		⑤交通費助成サービス需要度	1.82	2.80	2.70
		⑥訪問型生活支援サービス需要度	1.82	2.80	2.78
自治会内に、困っている方を支援するNPOや組織の有無			JAのえみちゃん		
自治会区域外に、困っている方を支援するNPOや組織の有無			社会福祉協議会のワクワクサービス		

前ページの表及び二渡神自治会へのヒアリング調査の結果から推定する同自治会の現状は次のとおり。

(1) 地域特性

二渡自治会は、湧水町の中山間地域に位置し、過疎化が進む地域である。商業施設や医療機関へのアクセスが良いとは言えない。高齢化率は湧水町の中山間地域のほかの自治会と比べて、同水準にある。

(2) 自治会内の暮らしの不便

<買物の不便>

二渡自治会では、生活必需品や食料品を購入するためには、市街地の商業施設まで行かなければならない。

移動販売は行われているが、利用は限定的となっている可能性がある。

ほかの自治会と比較すると、食料・日用品不便度や身近食料品購入不便度といった買物に関する不便度は高い傾向とは言えない。

<移動手段の不便>

バスの本数が少なく、住民の多くは移動のために自家用車や知人・親族の車に頼る状況である。

運転免許の返納後は、タクシーを利用したいと考えている住民もいるが、ほかの利用者に気兼ねせずに利用できるなど乗合タクシーの利用には工夫が必要との指摘もある。

このほか、遠方にある専門医療機関への受診について不安を抱える住民もいる。

<情報取得の困難>

行政の広報紙があるが、買物や移動に関する各種支援・サービスの内容の認知度が高いとまでは言えない。

特に訪問型生活支援サービスの認知度は、ほかの自治会と比べて低い。インターネットの利用率も低い。

(3) 生活に困っている方向けの支援やサービスの状況

<現在提供されている支援>

- ・ タクシー助成制度
- ・ 移動販売
- ・ 行政の情報提供

4-1-8 湧水町の麓自治会の現状

麓自治会と、湧水町の周辺部の自治会との比較は次のとおり。

表 4-1-7 湧水町の麓自治会と周辺部自治会との比較

		麓	湧水町の周辺 部全自治会の 平均		湧水町全体 の平均
自治会の組織属性	自治会の総戸数		34	28.8	27.8
	自治会加入率		85.3%	92.9%	92.9%
	高齢化度（率） 高齢化率		6	4.59	4.70
最寄りの市町村庁舎	庁舎名		吉松庁舎		
	自治会からの実距離（km）		1.0		
	市町村庁舎までの公共交通機関の1日の便数		記載なし		
	自治会からの時間的距離（公共交通機関）		記載なし		
自治会内の暮らし の不便	①かかりつけ医不便度		2.36	2.84	2.92
	②公共交通機関不便度		2.78	3.38	3.22
	③食料・日用品不便度		1.90	2.81	2.85
	④ガソリンスタンド不便度		1.91	2.56	2.57
	⑤金融機関不便度		2.18	2.78	2.73
	⑥郵便局不便度		1.30	2.28	2.24
	⑦保育施設不便度		1.86	2.47	2.34
	⑧小中学校不便度		1.71	2.31	2.11
	⑨高等学校不便度		2.71	3.81	3.70
	⑩受診機会不便度		1.91	2.47	2.51
	⑪買物機会不便度		1.40	1.97	1.91
	⑫早期受診不便度		2.09	2.78	2.71
	⑬高齢・福祉サービス不便度		2.44	2.47	2.55
	⑭身近食料品購入不便度		1.82	2.41	2.33
	⑮身近日用品購入不便度		2.18	2.48	2.40
困っている方の人 数等	外出困難者数		6人		
	生活に困っている方の人数		5人		
	生活に困っている方の受援の状況		分からない		
	生活に困っている方が受援できない理由		-		
困っている方向け 支援・ サービス	認知度	①移動販売サービス認知度	1.09	1.43	1.52
		②配達サービス認知度	1.36	1.59	1.71
		③買物代行サービス認知度	1.18	1.45	1.56
		④ネットスーパーサービス認知度	1.09	1.36	1.41
		⑤交通費助成サービス認知度	1.00	1.31	1.49
		⑥訪問型生活支援サービス認知度	1.36	1.66	1.77
	需要度	①移動販売サービス需要度	1.27	2.78	2.68
		②配達サービス需要度	1.27	2.81	2.73
		③買物代行サービス需要度	1.09	2.73	2.65
		④ネットスーパーサービス需要度	1.09	2.56	2.42
		⑤交通費助成サービス需要度	1.18	2.65	2.70
		⑥訪問型生活支援サービス需要度	1.18	2.77	2.78
自治会内に、困っている方を支援するNPOや組織の有無			知らない		
自治会区域外に、困っている方を支援するNPOや組織の有無			知らない		

前ページの表及び麓自治会へのヒアリング調査の結果から推定する同自治会の現状は次のとおり。

(1) 地域特性

麓自治会は、湧水町の市街地周辺部に位置し、湧水町内の市街地周辺部にあるほかの自治会と比べて特に高齢率が高い水準にある。ほかの自治会と比較して、買物や医療機関へのアクセスが不便なほうではない。

(2) 自治会内の暮らしの不便

<買物の不便>

麓自治会は、ほかの自治会と比較して、移動販売、配達、買物代行といった各サービスの認知度が低い。

他方で、需要度はほかの自治会と比べて高くはない。

<移動手段の不便>

麓自治会は、ほかの自治会と比べて、交通費助成サービスの認知度が低い。

他方で、同サービスの需要度も高くはない。

(3) 生活に困っている方向けの支援やサービスの状況

訪問型生活支援サービスの認知度が低い一方で、需要度はほかの自治会と比べて、高くはない。